

野洲市民病院整備事業市民懇談会

令和7年2月12日

市立野洲病院

健康福祉部地域医療政策課

目次

1. 市民負担のさらなる軽減策（案）について		p.2
Ⅰ 整備コストの引下げ		p.5
Ⅱ 入院収益の確保対策		p.12
Ⅲ 医師確保の具体的計画		p.24
◆ 収支見通しについて		p.25
2. 野洲市民病院整備事業実施設計（案）について		p.26
3. 今後のスケジュール等について		p.34
(1) 全体スケジュール		p.35
(2) 工事スケジュール		p.36

1.市民負担のさらなる軽減策（案）について

2

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について

◆◆ 軽減策立案の趣旨 ◆◆

- 昨年の野洲市長選挙で明らかになった新病院整備に対する市民の想いに適応
新病院は早く整備してほしいが、市民負担はできるだけ小さくあってほしい
病院を将来持続可能なものとし、かつ、本事業(整備・運営)に掛かる市民負担を、できる限り小さくする方策を検討（次頁「3つの柱」）

◆◆ 軽減策立案の前提 ◆◆

- ✓ 病床構成などの基本機能については変更しない〔開設申請・許可のとおり〕
∴ これまで審議会、議会、医療圏域で検討が尽くされた結論であること。
- ✓ 設置場所、工程については変更しない〔建築確認申請・許可のとおり〕
∴ 現契約を破棄すれば、建設市況の高騰の現状に鑑み、事業の再起工は不可能。
∴ 現病院施設はひっ迫。医療人材を流失すれば、野洲から病院が無くなる。

3

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について

◆◆ 市民負担の軽減策の「3つの柱」(ハード・ソフトの両面) ◆◆

I. 新病院の基本設計を再検証し、整備コストが引下げ可能な事項を示す。【整備・ハード】

〔前提〕:整備工程、医療の基本機能は変更しないこと。

〔手法〕:実施設計段階における「コンストラクション・マネジメント」業務の中で検証された削減案の実施について、市長執行部として提案するもの

II. 入院収益に関し、基本計画計上額を実現するための具体的対策を示す。【運営・ソフト】

〔手法〕:市民の中にある運営上の赤字に対する負担発生懸念に対応すべく、新病院での収支成立の蓋然性について、具体的方策を以て示すもの

III. 新病院における医師の具体的な確保目標と見通しを示す。【運営・ソフト】

〔手法〕:病院長を先頭に取り組んでいる医師確保計画の概要を可能な範囲で示すもの

4

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について—— I 整備コストの引下げ

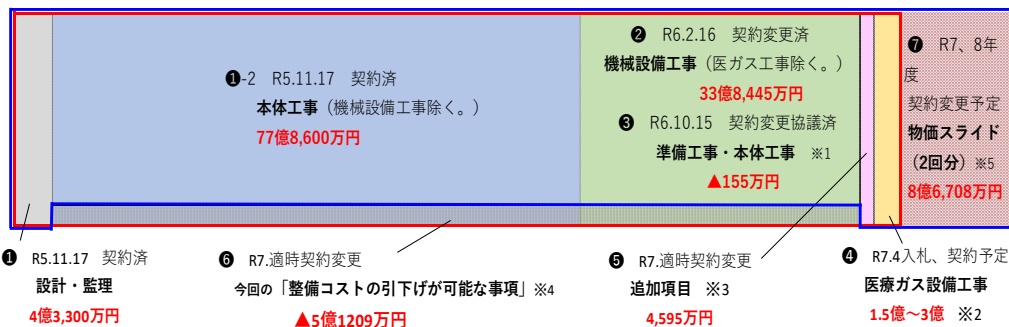
◆◆ 「引下げが可能な事項」を実施した場合の整備コストの総額見込み ◆◆

契約内容・事項		設計・監理	建築工事	契約等期日
R5.10 債務負担行為項目	① 基本設計・実施設計・工事監理	4億3,300万円		R5.11.17
	①-2 本体工事		77億8,600万円	R5.11.17
	② 機械設備工事(医療ガス除く)		33億8,445万円	R6.2.16
	③ 既決の設計変更等による減		▲155万円	R6.10.15
	④ 医療ガス設備工事		1.5億円～3億円	R7.4入札
	①～④小計:119億190万円	4億3,300万円	114億6,890万円	
	⑤ 実施設計中に必要性が判明した追加項目		4,595万円	R7.適時
	⑥ 「整備コストの引下げが可能な事項」		▲5億1,209万円	R7.適時
	①～⑥小計:114億3,576万円	4億3,300万円	110億0,276万円	
	〔参考:R5.10債務負担行為限度額:119億3,300万円〕		4億3,300万円	115億0,000万円
今後	⑦ 物価スライド(2回分)		8億6,708万円	R7.R8 適時
⑦を加えた全部の合計:123億0,284万円		4億3,300万円	118億6,984万円	

5

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について—— I 整備コストの引下げ

◆◆ 整備コストの全体図と「引下げが可能な事項」の位置づけ ◆◆



- ※1 準備工事及び実施設計初期における契約変更協議済の事項。擁壁の地盤改良工事の変更、エレベーター・太陽光設備・旗竿の中止
- ※2 医療ガス設備工事は、R7.4月入札発注につき、見込金額を明確にできない。
- ※3 追加項目の主な内容は、11ページに掲載
- ※4 項目の詳細は、7～10ページに掲載
- ※5 物価スライドは、建設物価調査会の建築費指数を基に、契約期間中に2回協議を持つ。現時点では11%の物価上昇を見込む。
- ※6 赤枠は、R5.10臨時議会で可決したR5～R8債務負担行為で認められた契約項目の枠[119億3,300万円]
【見込額:114億3,576万円】
- ※7 青枠は、現時点で見込まれる設計・監理・建築工事費の総額
【見込額:123億0,284万円】

6

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について—— I 整備コストの引下げ

◆◆ 「引下げが可能な事項」 ◆◆

項目	概算金額 (諸経費・税抜き)	備考
1 面積削減（薬局・売店・病棟）	▲100,000,000円	約250㎡削減。
2 積載荷重の見直しによる構造躯体の変更	▲10,000,000円	室の使用用途の精査。
3 仮設工事車両進入路の整備の取止め	▲137,900,000円	工事車両の車種や通行頻度を精査。農地の一時転用による進入路確保を取止め。
4 都市ガスの引込を取止め LPGタンクの設置	▲20,000,000円	災害時に敷地内に燃料を確保する計画に変更。
5 自動制御BEMS取止め	▲11,099,000円	消費電力のシステム管理の取止め。
6 電気時計の設置場所見直し	▲9,840,000円	オペ室など最小限に。
7 電気自動車充電設備の取止め	▲1,529,000円	取止め。
8 電源車接続盤の取止め	▲1,050,000円	取止め。
9 病棟観察室、重症個室の変更	▲4,480,000円	アイソレーショントランス設置取止め。無停電コンセント設置。

7

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について—— I 整備コストの引下げ

◆◆ 「引下げが可能な事項」 ◆◆

項目	概算金額 (諸経費・税抜き)	備考
10 電気ケーブルの仕様変更	▲6,500,000円	エコケーブル⇒一般ケーブル
11 非常用発電機の変更	▲11,520,000円	2基⇒1基（発電量の変更無し）
12 サーバー室の消火設備の変更	▲38,000,000円	不活性ガス消火設備⇒炭酸ガス消火器
13 病室圧縮空気の設置場所見直し	▲22,241,000円	全個室⇒急性期内科全個室、障害者個室3室、その他個室1室ずつ。
14 給水配管の仕様変更	▲3,500,000円	50A以下について、耐震型高性能ポリエチレン管⇒耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）
15 排水配管の仕様変更	▲8,742,000円	遮音シート巻きの取止め。
16 受水槽の変更	▲4,439,000円	SUS製⇒FRP製（複合板）
17 保温断熱材の仕様変更（空調・衛生）	▲3,000,000円	国土交通省仕様⇒SHASE仕様
18 スプリンクラー設備の変更	▲460,000円	ジョッキポンプの取止め。
19 手洗い乾燥機の取止め	▲2,747,000円	紙のお手拭きで対応。

8

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について—— I 整備コストの引下げ

項目	概算金額 (諸経費・税抜き)	備考
20 オストメイト設置場所見直し	▲909,000円	6ヶ所⇒3ヶ所 1、2階の多目的WCと3階の職員WCに1つずつ。
21 植栽の縮小	▲500,000円	
22 灌漑設備の取止め	▲3,500,000円	散水栓、水栓柱に変更。
23 外構フェンスの変更	▲500,000円	メッシュフェンス⇒ガードパイプ
24 施設サインの変更	▲500,000円	内照式⇒外照式
25 会議室可動間仕切り取止め	▲1,200,000円	後に設置できるように下地のみ施工。
26 病棟の病室・多目的WCの建具の変更	▲2,850,000円	煙感知ストッパー解除⇒常時閉鎖
27 受付のシャッター取止め	▲679,000円	ロールカーテンに変更
28 売店シャッターの変更	▲800,000円	サイズを縮小。引戸設置。
29 エレベーターの仕様変更	▲1,500,000円	速度、扉、枠、表示プレート変更

9

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅰ 整備コストの引下げ

◆◆ 「引下げが可能な事項」 ◆◆

項目	概算金額 (諸経費・税抜き)	備考
30 軽量鋼製ドアの変更	▲3,120,000円	スリット窓の取止め。
31 間仕切り壁の変更	▲1,600,000円	パーティション⇒軽量鉄骨下地壁 採血、内視鏡待合、生理検査待合、 会議室の4ヶ所
32 倉庫、器材庫の壁紙取止め	▲1,161,000円	石膏ボード張りのみに。
33 2階廊下の天井材の変更	▲340,000円	吸音板⇒化粧石膏ボード
34 病室の照明の変更	▲1,100,000円	フットライトの取止め。
35 オペ室3、アンギオの内装の変更	▲2,160,000円	外壁側鉛ボード取止め。
指摘項目合計（減額）	▲419,466,000円	

●引下げ可能な事項の合計金額 ▲5億1,209万円（諸経費・消費税を含む）

10

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅰ 整備コストの引下げ

◆◆ 「追加項目(主なもの)」 ◆◆

項目	概算金額 (諸経費・税抜き)	備考
1 感染症発生時の感染拡大防止対策	2,400,000円	陰圧ブーストの設置。 4階内科系病棟全室。 その他は各病棟個室3室。
2 透析室空気調和設備の変更	2,100,000円	微風量タイプに変更。
3 眼科外来の床の仕様変更	1,000,000円	OAフロアに変更。
4 当直室の変更	1,300,000円	ユニットシャワー4ヶ所追加。
5 5階障がい者病棟のユニットバス追加	840,000円	病棟転換を見越して1ヶ所追加。
6 フロン排出抑制法対応空調の新冷媒への変更（2025年4月から変わる）	30,000,000円	新機種に変わる。漏洩検知器+遮断弁の設置含む。
追加項目合計（増額）	37,640,000円	

●追加項目の合計金額 4,595万円（諸経費・消費税を含む）

11

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅱ 入院収益の確保対策

◆◆ 事業収支計画を実現するために ◆◆

2023年度決算と2035年度計画を比較すると…〔収益の部〕

□収益的収支

単位:千円

	現状 2023年度	開院10年目 2035年度	比較	
			R2035-R2023	R2035/R2023
病院事業収益	3,117,260	4,147,391	1,030,131	133.0%
医業収益	2,718,097	3,722,734	1,004,637	137.0%
入院収益	1,677,358	2,537,222	859,864	151.3%
外来収益	653,343	735,575	82,232	112.6%
その他医業収益	387,396	449,937	62,541	116.1%
医業外収益	397,201	424,657	27,456	106.9%
うち長期前受金戻入	171,139	273,193	102,054	159.6%
特別利益	1,962	0	-1,962	0.0%

=== 入院収益を(2023年度比)8億6,000万円引き上げる ===

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅱ 入院収益の確保対策

◆◆ 事業収支計画を実現するために ◆◆

(現状:2023年度)

病棟区分 現床数〔新病院〕	2023年度 実績			
	年度平均 利用床数	利用率 〔新病院換算〕	平均診療単価	診療稼働額
急性期 55床〔60床〕	36.3床	66.0% 〔60.5%〕	42,412円/日	5億6,400万円
地域包括ケア 48床〔49床〕	32.1床	66.9% 〔65.5%〕	39,083円/日	4億5,900万円
回復期リハ 41床〔50床〕	34.4床	83.8% 〔68.7%〕	37,146円/日	4億6,700万円
障害者 43床〔40床〕	14.6床	33.9% 〔36.5%〕	36,578円/日	1億9,500万円
全体 (*1)187床〔199床〕	117.4床	62.8% 〔59.0%〕	39,234円/日	(*2)16億8,500万円

(*1)許可病床は199床ですが、現病院では6室ある6人部屋を4床で運用しているため、187床となります。

(*2)稼働額のため、決算額16億7736万円とは一致していません。

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅱ 入院収益の確保対策

◆◆ 事業収支計画を実現するために ◆◆

=== 入院収益 25億3,800万円の実現 ===

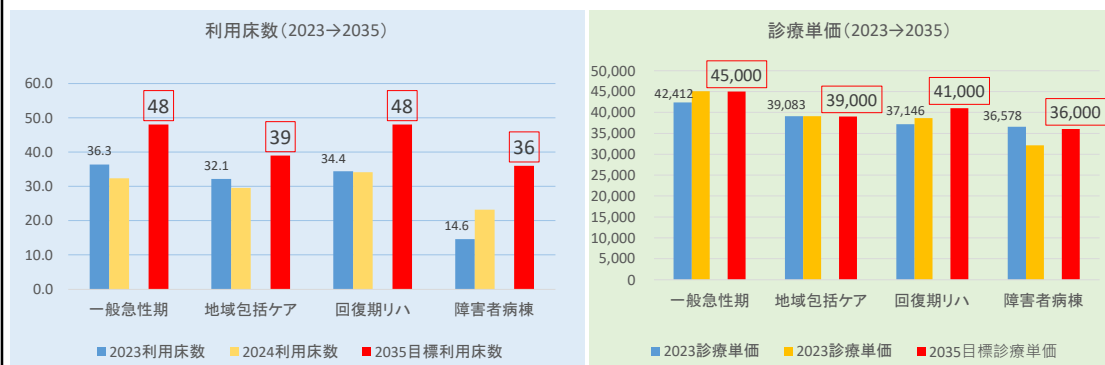
病棟区分 床数(新病院)	2035年度 目標			
	(2023実績) ⇒目標利用床数	(2023実績) ⇒目標利用率	(2023実績) ⇒目標診療単価	目標診療稼働額
急性期 (60床)	(36.3床) ⇒48床	(60.5%) ⇒80.0%	(42,412円/日) ⇒45,000円/日	7億9,056万円
地域包括ケア (49床)	(32.1床) ⇒39床	(65.5%) ⇒80.0%	(39,083円/日) ⇒39,000円/日	5億5,669万円
回復期リハ (50床)	(34.4床) ⇒48床	(68.7%) ⇒95.0%	(37,146円/日) ⇒41,000円/日	7億2,029万円
障害者 (40床)	(14.6床) ⇒36床	(36.5%) ⇒90.0%	(36,578円/日) ⇒36,000円/日	4億7,433万円
全体 (199床)	(117.4床) ⇒171床	(59.0%) ⇒85.9%	(39,234円/日) ⇒40,614円/日	25億4,187万円

14

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅱ 入院収益の確保対策

◆◆ 事業収支計画を実現するために ◆◆

=== 入院収益 25億3,800万円の実現 ===



15

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅱ 入院収益の確保対策

◆◆ 事業収支計画を実現するために ◆◆

=== 入院収益 25億3,800万円の実現 ===

	課題	目標実現に向けた方策	指数目標 2035年		
			指標	2024現状	目標
病院全体	・ 医療の特色が不明確	・ 『整形とリハビリに優位性を持つ 地域の中核病院』 ... 整形外科の手術・治療・リハビリ、その他リハビリ全般を強みとする病院としての地位確立をめざす	—	—	—
	・ 入院の主治医を取れる医師の不足	・ 滋賀医大を中心とした医師招聘 ... 診療科別確保計画は別途説明	□ 応需可能患者数 □ 常勤医 □ うち週5勤務	140人 15人 10人	180人 20人 18人
	・ 病棟Nsの数が少ない	・ 125人確保(働き方に配慮した配置数) ・ 新採学卒者の確保 ... 奨学金に係る「校長推薦枠」(5人/年)を、県内外の養成機関と協定 ・ 病棟Nsの実質的増員 ... 外来NsをMAに転換、その他タスク・シフト・シェアの積極的推進	□ 看護師 □ 毎年の新規学卒 (2022~24AVG) □ MA及びフロアマネジャー	110人 2人 (2022~24AVG) 5人	125人 5人 12人
				16	

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅱ 入院収益の確保対策

◆◆ 事業収支計画を実現するために ◆◆

=== 入院収益 25億3,800万円の実現 ===

	課題	目標実現に向けた方策	目標指標 2035年		
			指標	2024現状	目標
(続き) 病院全体	・ 施設の古さ	・ 新病院の工程どおりの開院	—	—	—
	・ 退院調整が困難化する見込がある患者などを積極的に取らない傾向 ... 在院日数の長期化や退院調整の困難性に係る懸念が(医師、医療職、SW)に介在	・ 医療的な合理性に基づき、原則取る方針 ・ 特に、野洲市民には必ず応じる方針 【==意識改革==】 ・ 障害者病棟(維持期)の運用改善 ... 肢体不自由による在宅困難者、看取り想定の患者も応需する病棟へ	□ 障害者病棟利用率	36.5% (2023)	90.0%
	→ 結果、入院応需のハードルが上がってしまい、他院からの患者紹介が十分に伸びてこなかった。	・ MSWの体制等の強化 ... 退院先や在宅サービス調整を担うMSWの体制強化とスキル向上	□ MSW数	5人	7人

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅱ 入院収益の確保対策

◆◆ 事業収支計画を実現するために ◆◆

=== 入院収益 25億3,800万円の実現 ===

		課題	目標実現に向けた方策	指数目標 2035年		
				指標	2024現状	目標
病棟ごと	一般急性期	・入院に繋がる手術件数が少ない ・救急等の予定外入院が少ない ...常勤医師が少なく診療科も限定されており、救急入院を取れない	・整形外科中心に手術件数の増加を図る ・転院搬送(C004-2)の応需拡大 ・救急入院の応需拡大 ・滋賀医大を中心とした医師招聘 ...確保計画は別途説明	□ 診療所、外来、術後患者による入院の増③ □ 他院からの転院による入院の増④ □ 救急応需による入院の増⑤ □ 常勤医 □ 週5勤務	全体 83人/月	プラス 12人/月 プラス 5人/月 プラス 4人/月 プラス21人,125% 15人 10人 20人 18人
	地域包括ケア	・急性期病棟からの転棟が少ない ...院内での転棟元である急性期の患者が少ないことが要因する ・亜急性期やレスパイト入院の紹介が少ない	・一般急性期病棟の利用床数を向上させる ・他病院等への情報提供の強化	□ 上記③④⑤の患者の転棟の増加による入院の増⑥ □ 他院からの転院による入院の増(亜急性性)⑦ □ レスパイトによる入院の増⑧	全体 38人/月	プラス 3人/月 プラス 4人/月 プラス 2人/月 プラス21人,124%

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅱ 入院収益の確保対策

◆◆ 事業収支計画を実現するために ◆◆

=== 入院収益 25億3,800万円の実現 ===

	課題	目標実現に向けた方策	指数目標 2035年		
			指標	2024現状	目標
病棟ごと(続き)	回復期リハ	・ベッドが足りず断りや待機が発生している ...応需患者についても急性期病棟などで待機させている ・リハ提供単位数が低い ...リハ職が少ないこと、脳血管リハが少ないこと等で提供が限られている	・新病院で増床し、かつ利用床数を上げ、ニーズに応じる ...ベッド数:41床→50床 利用率:68.7%→95% ・提供単位数(人/日)の向上 ...職員数:11人→28人 職員1日単位数:18単位	□ 他病棟からの患者の転棟の増加による入院の増⑨ □ 他院からの転院による入院の増(リハビリ)⑩ □ リハビリ職員数 □ 平均単位数	全体 19人/月 プラス 3人/月 プラス 4人/月 11人 (2023) 3.9単位 (2023) 28人 6.5単位

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅱ 入院収益の確保対策

◆◆ 事業収支計画を実現するために ◆◆

=== 入院収益 25億3,800万円の実現 ===

	課題	目標実現に向けた方策	指数目標 2035年		
			指標	2024 現状	目標
病棟ごと(続き)	障害者病棟	・神経難病のニーズに誤算	□ 障害要件該当患者数	14人	27人
		・長期化する患者は受けず、看取りはしない運用	□ リハビリ単位数	—	3単位
		・肢体不自由の患者を増やす ...肢体不自由をメインに利用率を上げる。 ...リハビリを積極的に入れる			
		・在宅復帰を前提にした長期入院に対応 ...在宅療養が困難な看取り期の市民、他病棟で療養するも在宅が困難な患者、看取り期に入った患者に対応する。			

20

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅱ 入院収益の確保対策

◆◆ 事業収支計画を実現するために ◆◆

=== 入院収益 25億3,800万円の実現 ===

病棟区分 (新病院床数)	2035年度 目標利用床数				目標診療稼働額
	2023 実績	2035 目標	増加 目標	達成方法(理論上の計算)	
急性期 (60床)	36床	48床	12床	④診療所、外来、術後患者による入院の増【プラス・6床】 「プラス12人/月」×@14日入院 ⑤他院からの転院による入院の増【プラス・4床】 「プラス5人/月」×@21日入院 ⑥救急応需による入院の増【プラス・2床】 「プラス4人/月」×@14日入院	@45,000円 ×48床×366日 7億9,056万円
地域包括ケア (49床)	32床	39床	7床	④上記⑤⑥の患者の転棟の増加による入院の増【プラス・3床】 「プラス3人/月」×30日入院 ⑤他院からの転院による入院の増(亜急性)【プラス・4床】 「プラス4人/月」×30日入院 ⑥レスパイトによる入院の増【プラス・1床】 「プラス2人/月」×10日入院	@39,000円 ×39床×366日 5億5,669万円

21

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅱ 入院収益の確保対策

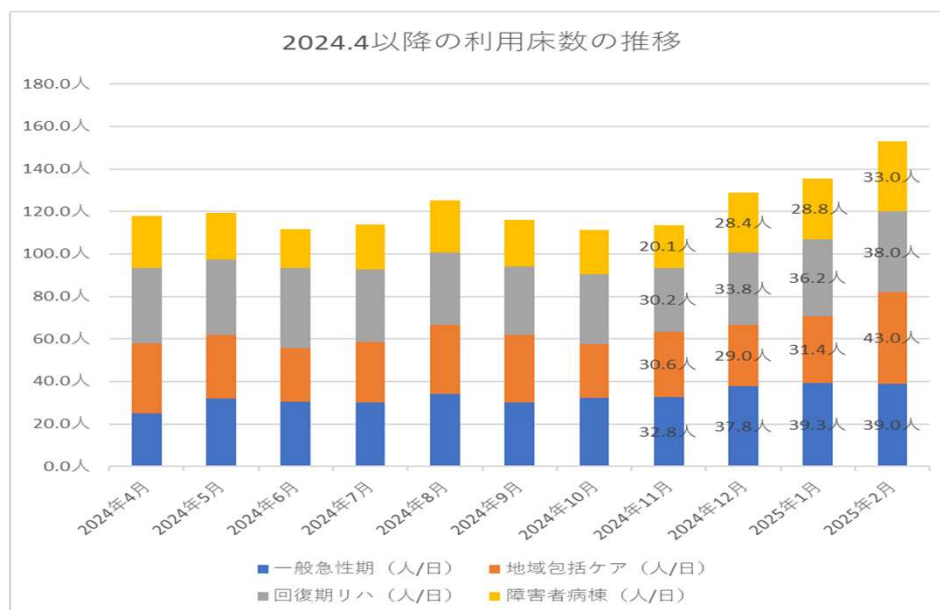
◆◆ 事業収支計画を実現するために ◆◆

=== 入院収益 25億3,800万円の実現 ===

病棟区分 (新病院床数)	2035年度 目標利用床数				達成方法(理論上の計算)	目標診療稼働額
	2023 実績	2035 目標	増加 目標			
回復期リハ (50床)	34床	48床	14床		㊦他病棟からの患者の転棟の増加による入院の増【プラス・6床】 「プラス3人/月」×@60日入院 ㊨他院からの転院による入院の増【8床】 「プラス4人/月」×@60日入院	@41,000円 ×48床×366日 7億2,029万円
障害者 (40床)	15床	36床	21床		①難病患者の数【5床】 ②肢体不自由患者の数【22床】 ③障害非該当の長期入院患者の数【9床】	@36,000円 ×36床×366日 4億7,434万円
						25億4,187万円

22

(参考)2024.4以降の利用床数の推移



(2025年2月の数値は2月2日まで)

23

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について——Ⅲ 医師確保の具体的計画

	診療科	2024 現在(1.31)		2025 次年度予定		2027 開院時計画	
		常勤 (週4以上)	内フルタイム	常勤 (週4以上)	内フルタイム	常勤 (週4以上)	内フルタイム
内科系	糖尿・内分泌	2	2	3	3	10	9
	腎臓・透析	2	1	2	1		
	脳神経内科	2	2	0	0		
	呼吸器内科	0	0	0	0		
	循環器内科	1	1	1	1		
	消化器内科	2	1	2	1		
外科系	消化器外科	0	0	1	1	6	6
	泌尿器科	2	1	2	1		
	整形外科・リハ科	2	2	2	2		
	小児科	0	0	0	0	4	3
	麻酔科	0	0	0	0		
	放射線科	1	0	0	0		
	健診科	1	0	1	0		
全体合計		15	10	14	10	20	18

24

1.市民負担のさらなる軽減策(案)について—— ◆ 収支見通しについて

前回との比較:開院10年目(2035年)の比較

(※) 各年度は別途配布資料をご参照ください

収支計画概要	開院10年目(2035年)の比較		単位:百万円
	①前回 119億円ベース	②今回 123億円ベース	② - ①
医業収益	3,730	3,723	▲7
うち 入院診療収益	2,526	2,537	11
うち 外来診療収益	736	736	0
医業費用	3,700	3,914	214
うち 貸倒引当金	6	6	0
うち 減価償却費	595	627	31
医業損益	30	▲191	▲221
医業外収益	407	425	18
うち 長期前受金戻入	258	273	15
医業外費用	182	226	45
うち 繰延勘定償却	15	15	0
経常損益	255	7	▲248
特別利益	0	0	0
特別損失	0	0	0
純損益	255	7	▲248
資本的収入	418	433	15
資本的支出	738	765	27
うち企業債償還額	572	602	31
資本的収支差額	▲320	▲332	▲12
単年度資金余剰	293	49	▲244
当年度末累積資金余剰	4,106	2,244	▲1,862

【開院10年目を例に】

①前回 ⇨ ②今回

1. 建築費用の上昇により、減価償却費は約3,100万円/年向上
2. その他、医師・医療スタッフの増員がさらに必要なことから、給与費を約3億円引上げなど
3. 金利上昇の見込みと建築費用上昇により支払利息は約5,544万円/年引上げ
4. 経常損益は約2億4,800万円悪化するも単年・累積ともキャッシュはショートせず。

25

2.野洲市民病院整備事業実施設計（案）について

基本設計時

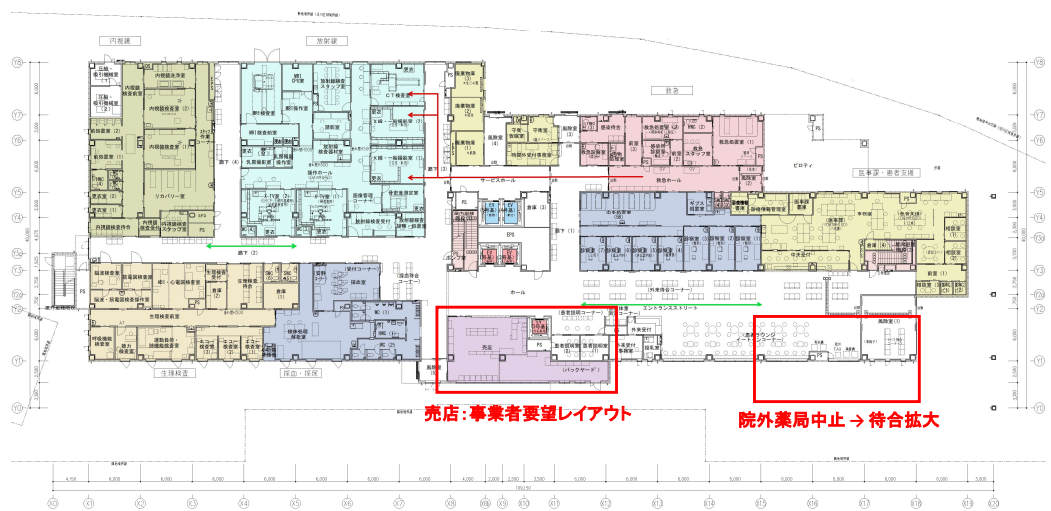
1階平面図



28

実施設計完了時

1階平面図



29

基本設計時

4階平面図



30

実施設計完了時

4階平面図



31

基本設計時

5階平面図



32

実施設計完了時

5階平面図



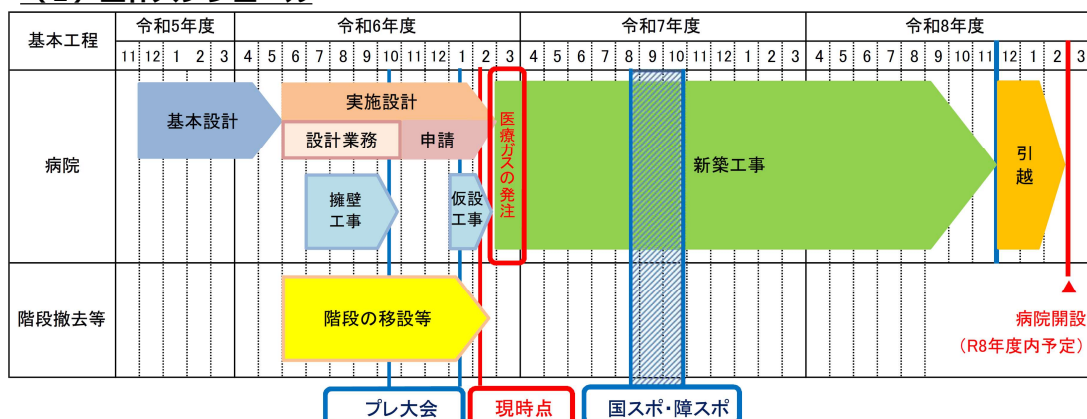
33

3.今後のスケジュール等について

34

3.今後のスケジュール等について

(1) 全体スケジュール



国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会中及び準備・片付け等の期間は、工事の中止など、当該大会事業に対し厳に影響を与えない方策を講じます。

なお、野洲市総合体育館で開催される大会の日程は下記のとおりです。

武術太極拳	: 令和7年8月30日～31日
卓球	: 令和7年9月28日～10月2日
バスケットボール	: 令和7年10月4日～7日
卓球(サウンドテーブルテニスを含む)	: 令和7年10月25日～26日

3.今後のスケジュール等について

(2) 工事スケジュール

